

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【公表番号】特表 2008-521318 (P2008-521318A)

【公表日】平成 20 年 6 月 19 日 (2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報 2008-024

【出願番号】特願 2007-542410 (P2007-542410)

【国際特許分類】

H 0 3 H 7/38 (2006.01)

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 7/38 Z

H 0 4 B 1/04 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 11 日 (2011.11.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 8】

取り出し手段 2 0 (3 0) の第 1 (第 2) 部分は図 4 に示されると共に、例えば抵抗等の第 1 (第 2) 素子 2 1 (3 1) を備える。素子 2 1 (3 1) の入力側は、キャパシタ 2 2 (3 2) および 2 3 (3 3) の直列回路を介して接地に結合され、この直列回路の共通接続点は増幅器 2 4 (3 4) の第 1 入力に結合され、その第 2 入力は接地に結合される。素子 2 1 (3 1) の入力側はさらに、キャパシタ 2 5 (3 5) および 2 6 (3 6) の直列回路を介して接地に結合され、この直列回路の共通接続点は増幅器 2 7 (3 7) の第 1 入力に結合される。素子 2 1 (3 1) の出力側はキャパシタ 2 8 (3 8) および 2 9 (3 9) の直列回路を介して接地に結合され、この直列回路の共通接続点は増幅器 2 7 (3 7) の第 2 入力に結合される。両増幅器 2 4 , 2 7 (3 4 , 3 7) は、負荷ライン 3 から取り出される複数信号を生成する。これらの複数信号は、検出手段 4 0 (5 0) の第 1 (第 2) 部分に供給される。受動素子 2 1 (3 1) の代わりに、インダクタや (部分的に) 偶数の非受動素子のような他の受動素子が用いられても良いし、それゆえに、これらは排除されない。